

ドキュメンタリー映画 **あい** ～精神障害と向き合って～

精神障害は精神症状の出現とともに、精神の機能が低下して社会生活の様々な場面に困難が現れる障害です。滋賀県精神障害者地域支援事業所協議会（精作連）では過去 5 年間にわたり一般就労されている作業所の卒業生の体験談などを通し精神障害者の『はたらく』をテーマに取り組んできました。

今回は精神障害者や作業所の現状を関係者の枠を超え広く一般市民の方に見ていただくことで精神保健福祉の普及啓発につながるようにしたいと考えております。

今回の映画の舞台となっている藍工房（就労支援 B 型）では藍染製品や組紐などの自主製品づくりやレストラン経営、さらには文化活動など精力的に取り組んでおられます。

この映画会を通して広く一般市民、関係者たちの方に、藍工房で働く方々の、精神障害者のありのままの日常を見ていただくことで、彼らが安心して暮らせる社会の実現と精神障害に対する正しい理解が広がることを目指した上映会を実施したいと思います。

と き：平成 31 年 2 月 10 日（日）
13 時開場 13 時 30 分開演
ところ：野洲文化小劇場
参加費：無料（参加申込み不要）

「あい」～精神障害と向きあって～上映会

主 催：滋賀県精神障害者地域支援事業所協議会（精作連）

後 援：滋賀県・滋賀県社会福祉協議会・公益財団法人京都新聞社会福祉事業団

野洲市・一・野洲市社会福祉協議会 般社団法人野洲市給与所得者の会・陽だまり後援会

協力団体：滋賀県立精神保健福祉センター・滋賀県社会就労事業振興センター・滋賀県精神保健福祉士会

滋賀県就労移行支援事業所協議会・滋賀県精神保健福祉協会・滋賀県精神障害者家族会連合会

野洲市民生児童委員協議会・野洲市精神障害者患者家族会



問合せ：陽だまり
077-586-7338

この映画を観た方々の声です！！

(去る 11 月 18 日、高島市の精神保健ボランティアグループいろいろの会主催で行われた上映会でのアンケートから抜粋、紹介させて頂いています。)

<マキノ・男性・70 歳代>

感動しました。素晴らしい映画です。たくさんの人に観て欲しいです。「今の時代、精神疾患を患わない方がおかしいのでは…」という言葉が強烈に響きました。息子も精神を患っており、大変さは解ります。本人や家族の責任外で発症するケースがほとんどだと伺っております。社会全体で支え合うことが大切だと考えています。

<新旭・男性・50 歳代>

TVなどでドキュメンタリー的なものは見た事があったが、このような形で見せてもらうのが初めてです。色んな障がいを持った人が色んな障害を乗り越え、社会とのつながりがある。自分の居場所を見つけ、健常者の私より一日一日をしっかりと過ごしておられる姿に感動致しました。

<今津・女性・40 歳代>

生きる場所があることは素晴らしい。障害があっても一歩踏み出せる勇気、支援が必要。個性を生かした関わりも大切(笑える場所作り)一人で困っている人がいれば、仲間やこういう場所があることを伝えたい。精神疾患は誰もがいつなるかわからない、特別であって特別でない。心は何時疾患になるかわからない。

<守山市・女性・70 歳代>

それぞれの障害の皆さんが明るくて素直であることに感動しました。元気をもらい有難うございました。私なりに精神疾患をもう一度考え直し、反省していきたいと思います。

会場案内図



アクセス



電車でお越しの方

JR 琵琶湖線 野洲駅下車 徒歩3分



お車でお越しの方

<名神高速道路>栗東ICより約15分、竜王ICより約20分

<国道8号線>交差点(野洲駅口)を北北西へ2分

※駐車台数に限りがありますので、なるべく公共交通機関をご利用ください。